



## おおさかカンヴァス2016

太陽の塔を振り向かせろ。

制作予算上限

500万円

募集期間

2016.  
4.25 Mon  
- 6.20 Mon

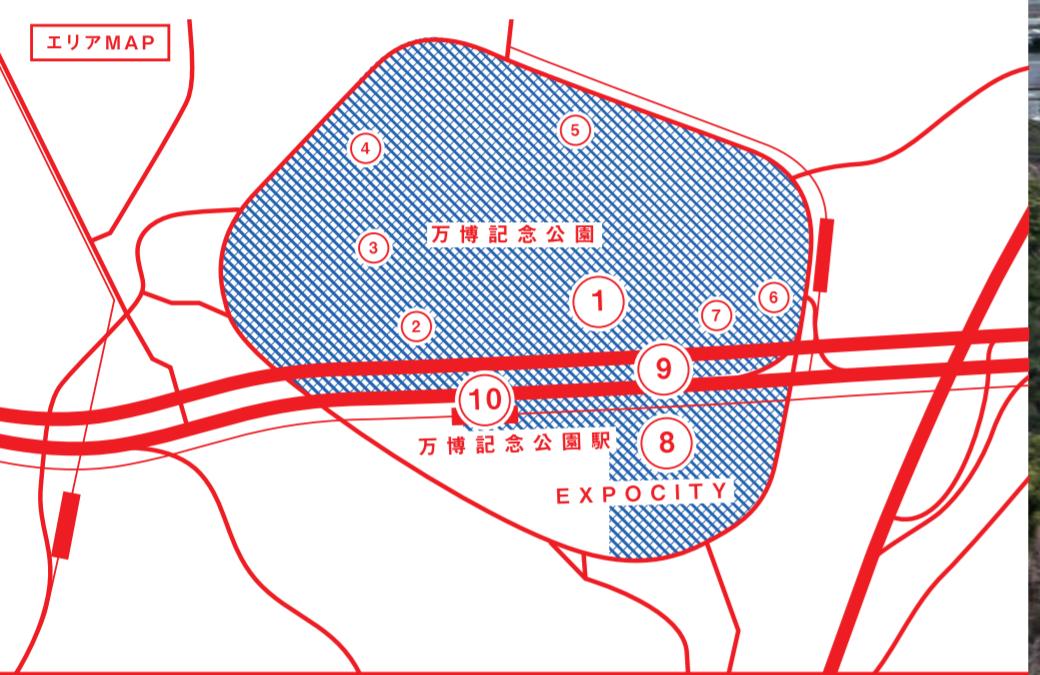
公募



# 作品展示エリア

おおさかカンヴァスはこれまで6年間、河川や道路、公園等あらゆる公共空間で作品発表を行うことによって、その場所や地域にしかるべき魅力を引きだしてきました。

今年は、日本万国博覧会が開催された跡地を「緑に包まれた文化公園」として整備してから45年余りが経過した「日本万国博覧会記念公園」を中心に開催します。なかでも、今もなお多くの人々を引きつけてやまない「太陽の塔」の精神を現代的に捉え、強力に表現する作品を募集します。世界に誇る「太陽の塔」へのリスペクトと挑戦を「太陽の塔」の真ん前の「太陽の広場」で表現する、またとない機会。皆さんの想いを国内はもとより世界中の人々に発信します。



## ⑧EXPOCITY

2015年11月に新しくオープンしたEXPOCITY。「『遊ぶ、学ぶ、見つける』楽しさをひとつに！」をテーマに、ミュージアムやシネマコンプレックス、教育とエンターテインメントが融合したエデュテイメント施設等の8つのエンターテインメント施設と「三井ショッピングパーク ららぽーとEXPOCITY」が、今までにない体験と感動を提供します。

**POINT**  
生きているミュージアムとして大人気の「NIFREL(ニフレル)」が構えるEXPOCITY入口から、空の広場にかけてのエリアが展示対象です。万博記念公園駅から太陽の塔へと向かう道筋に新しく誕生したエリアにふさわしい作品を期待します。



空の広場



## 万博記念公園

日本万国博覧会記念公園は、日本万国博覧会（大阪万博）の跡地を整備した公園。太陽の塔に象徴される多くの文化施設や各種スポーツ・レクリエーション施設等、多種多様な施設が森の豊かな緑と調和しながら配置されています。日本万国博覧会の成功を記念して、テーマとしていた「人類の進歩と調和」を基本理念に45年余り、日本万国博覧会記念協会、日本万国博覧会記念機構が管理運営してきましたが、平成26年4月1日、大阪府に承継されました。

## ⑨万博記念公園への連絡通路

大阪モノレール「万博記念公園駅」と万博記念公園の間をつなぐ連絡通路。大阪モノレールの線路と中国自動車道を横切る形で南北に走っています。

**POINT**  
万博記念公園駅を降り、EXPOCITYを横に見て、いよいよ万博公園へと向かう場所に位置する連絡通路。太陽の塔へといきなり期待感ある空間を表現の場として活用してください。



## ⑩万博記念公園駅

万博記念公園をはじめ、EXPOCITY、ガンバ大阪新スタジアム等を訪れる大勢の人が乗り降りする駅。2015年に、「光と緑があふれる公園のような場所」をコンセプトにリニューアルされ、万博記念公園の「太陽の塔」にちなんで「太陽の駅」と愛称が付けられました。休憩スペースである「くつろぎの空間」や「イベント広場」も設置されています。

**POINT**  
リニューアルされて光あふれる空間となった駅構内の壁面展示エリアにて、平面作品を募集します（高さ3mの位置にピクチャーレール有り、耐荷重30kg、横幅11.8m）。万博公園に向かう人が、モノレールを降りて初めて触れるカンヴァス作品です。この駅空間から太陽の塔を望むことができます。



## ①太陽の広場

万博記念公園のシンボルである「太陽の塔」と質の高い芝生空間が一体となって景観を形成している公園のエントランスであり、代表的な場所。記念撮影の人気スポットでもあり、1970年の博覧会当時は、この広場の上に大屋根が架っていました。

**POINT**  
太陽の塔前の「太陽の広場」全面および同広場前の一部の園路（太陽の広場側から幅3m以内）を展示対象エリアとします。博覧会当時、多くの人に驚きと感動を与えた太陽の塔の内部は、40億年前からの生命の進化を表した生命の樹がある展示空間でした。今後、耐震化工事を経て内部を公開する計画もある太陽の塔は、いまだに多くの人を惹きつけてやみません。太陽の広場は、このような魅力あふれる太陽の塔に對峙する絶好の展示場所です。力ある提案を期待します。



**POINT**

太陽の塔の背後には広大な公園エリアが広がっています。今回は日本庭園の洲浜エリア、森の舞台、西大路、夏の花八景、もみの池が展示対象です。「緑に包まれた文化公園」として整備されてきた、緑豊かな空間を生かした表現をお待ちしています。

②もみの池



③西大路



④森の舞台



⑤日本庭園(洲浜)



⑥夏の花八景



⑦世界の森



# おおさか カンヴァス これまでの 歩み

おおさか  
カンヴァス2015  
選定作品

おおさかカンヴァスは公共空間でアーティストの想いを実現することによって、都市の可能性を広げ、大阪の新しい魅力を発信しようと2010年から実施されている。作品展示にあたって規制等のクリアすべきハードルがあれば、規制緩和等、できるだけそれらを乗りこえることによって、都市を使いこなし、誰もが表現できるまち・大阪を目指している。

## HISTORY

'10

大阪府全域を  
カンヴァスに

空港、公園、河川敷、浅湯等、府全域の多彩な公共空間を舞台に、本物の車をバックドロップするジャイアント馬場像や、巨大な箱を大勢の人の力で引き起こすプロジェクト等、23作品が展示された。なかでも、高さ13mのこけし作品は、付近の高速道路を走る車の事故を誘発するとして警察の許可がなかなか下りなかったが、支障がない旨を風船を作成して同じ高さに上げた実証実験で証明。展示にこぎつけた。以降、中之島公園にて高さのあるオブジェの設置が可能になる等、都市の可能性を広げる契機となった。

'11

大阪ならではのエリアを  
カンヴァスに

通天閣、中之島公園、アメリカ村、大阪城等、大阪ならではのエリアを舞台に、商店街やテニスコート、病院、デパートといった様々な公共空間とアートとの多様な関係性を表現する43作品が展示された。なかでも、5年もの間、誰にも見せることがなくコツコツと家屋全体を作品に変えていた空間が初めて公開されることに(下画像参照)。隠れた才能の発掘や、アーティストではない挑戦者が表彰舞台に登場するのも「おおさかカンヴァス」の特徴の一つとなっている。

'12

都市公園をカンヴァスに、  
祝祭空間へ変える

水都大阪フェスと協働し、中之島公園全体を舞台に11作品を展開。川へ向かってゴルフの打ちばなしを行なうプロジェクトは、環境浄化機能を備えたボールを開発し、展示許可にこぎつけた。他にも、街なかで突然あめちゃんを配り、人生相談を始める147人のオバチャーン!も初登場した。公園内の公衆トイレの一部を取り込み、ホテルに改修する作品も出現(下画像参照)。宿泊するには法律等、クリアすべき課題も多く、最初は誰もが不可能と思ったプロジェクトだったが実現に至った。

'13

埋立地をカンヴァスに、  
アートで投資を呼びこむ

中之島の西の端(中之島GATEエリア)にある埋立地を舞台に作品を展開。倉庫が立ちならぶ、人通りのない場所に新たな魅力を引きだすことにチャレンジした。結果として翌年、この試みを知った、世界で活躍する劇団「維新派」が公演の場として実際に活用。さらに、その翌年には、鮮魚を販売し、レストランも併設する商業施設がオープンした。まずはアートで地域の新たな魅力を発掘、エリアの価値を発信し、投資を呼びこむ。欧米でよく見られる都市再生手法の小規模版の成功事例となった。

'14

御堂筋をカンヴァスに、  
規制多き「道路」と向きあう

大阪の顔であるメインストリート・御堂筋を舞台に、最も規制の多い公共空間の一つである「道路」をアート作品の表現の場として活用する可能性を探った。20社を超える沿道企業の協力を得ながら、看板型の作品を壁面に展示したり、道路に面した寺院の大階段に巨大な影絵を展開したり。他にも、ビジネスマンに扮したパフォーマーが道路で踊りだすプロジェクト等、道路空間における新たな魅力を生みだし、アートとのコラボレーションの可能性を大きく広げた。

'15

大阪のシンボルをカンヴァスに、  
都市の魅力を強く発信

水門で水位を安定させ、川面に近くように遊歩道を設置する等、水都として充実したインフラを活用し、レーンに沿った川へ回転寿司のオブジェを流す作品が出現。他にも、ニットで編みくるまれたアート船が川を走り、コスプレ観光大使が大阪ならではの風景を発信する等、シンボル的空間を十分に生かした作品が登場した。潜水士や広告代理店スタッフ等、アーティストによるものではない作品が半分を占め、「美術」という狭いカテゴリーが拡大され、新しくなる予感を持ったと審査員に言わしめた。



## A「From the Sea」

保坂 優彦

通常、砂像を作る場合は砂に混じった漂着物やゴミを丁寧に取りのぞいてから作成するが、この砂像は、それをあえて残したまま作られた。そこに現れたのは、人の営みが、都市という存在が、海に、自然に影響を与えた断片である。これまで見せられなかったものを見せることに挑戦し、訪れた人に考えるきっかけを与える作品となつた。

## B「水面下で働く人」 水中の便利屋

水槽の中で黙々とデスクワークするビジネスマン／ウーマン。パフォーマンスするのはプロの潜水士たち。彼らは、「水都」としての大阪の発展を文字通り「水面下」で支えてきた人々に敬意を表し、「水」と「働く人」をキーワードに、得意の潛水を生かしたパフォーマンスを行った。多くの人に楽しみながら「水都」を感じてほしいとの意気込み通り、様々な水辺において、水槽の内外とで楽しいコミュニケーションが交わされた。

## C「フシギオカナヌユルグー」 今井 杏奈

人々から聴こえる、多くのリズム・息づかいから感じたことをフシギ立体作品にすることで、個性の素晴らしさ、面白さ、不思議さを体験、発信する」と語る作者は、今回初めて野外での大型立体作品に挑戦。中之島公園に設置された最大9mのオブジェは、芝生広場を訪れた人々の気持ちを伸びやかにさせ、子どもたちが周囲を走りまわるなど、芝生広場の特性を十分に生かした展示となった。(大阪芸術大学連携企画)

## D「大阪コスプレ観光大使！」 大阪コスプレ観光大使プロジェクト

道頓堀と中之島。大阪の顔となるエリアを舞台に、コスプレイヤーたちが自らの勇姿を撮影し、全世界へ発信。レイヤーさんならではの舞台設定とアンダルで、見慣れた風景とはちょっと違う大阪をPRしてもらおうというプロジェクト。コスプレは、閉じられた空間で撮影が行われることが通常であるが、今回は大阪の街なかでの撮影に挑戦。観光大使としてのミッションを背負って、大阪の魅力を新たな切り口で発信した。

'16

大阪のシンボルをカンヴァスに、  
都市の魅力を強く発信

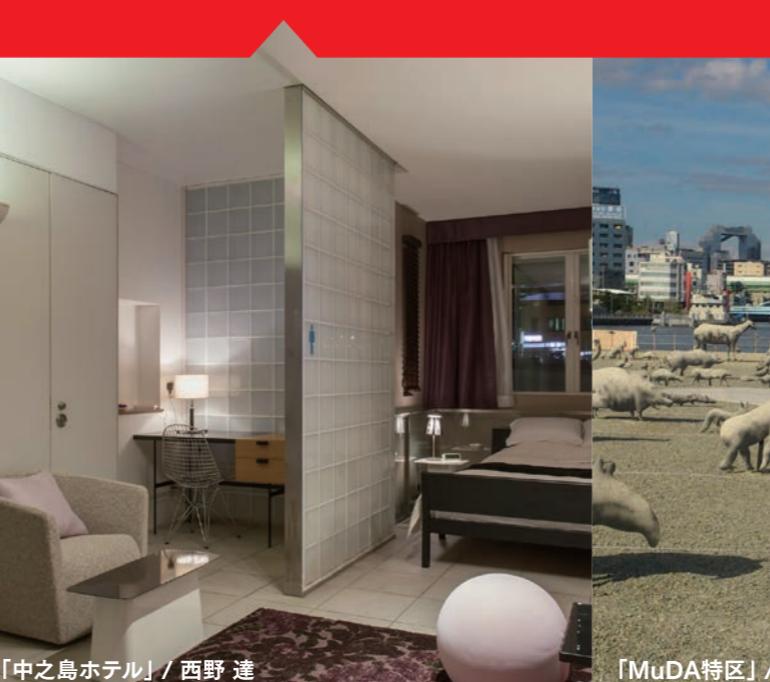
水門で水位を安定させ、川面に近くように遊歩道を設置する等、水都として充実したインフラを活用し、レーンに沿った川へ回転寿司のオブジェを流す作品が出現。他にも、ニットで編みくるまれたアート船が川を走り、コスプレ観光大使が大阪ならではの風景を発信する等、シンボル的空間を十分に生かした作品が登場した。潜水士や広告代理店スタッフ等、アーティストによるものではない作品が半分を占め、「美術」という狭いカテゴリーが拡大され、新しくなる予感を持ったと審査員に言わしめた。



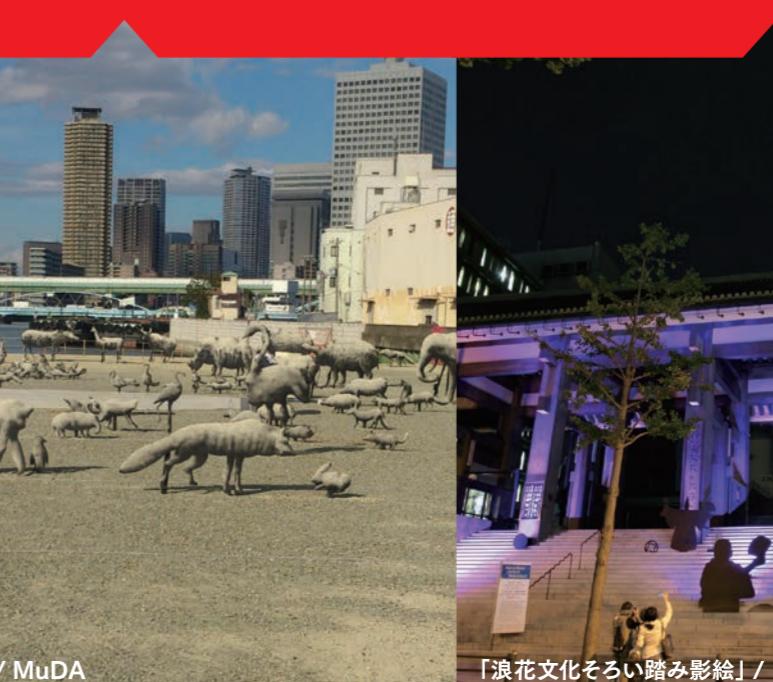
「イッテキマスNIPPON シリーズ“花子”」/ Yotta



「セルフ屋敷」/ コタケマン



「中之島ホテル」/ 西野 達



「MuDA特区」/ MuDA



「ローリングスシー」/ Class株式会社

# おおさかカンヴァス推進事業2016 募集概要

## 事業目的

この事業は大阪のまち全体をアーティストやクリエイターの発表の場として活用し、大阪の新たな都市としての魅力を創造・発信しようとするものです。公共空間とアートのコラボレーションによって、アーティストやクリエイターへアイデアと想いを実現できる機会を提供するとともに、都市や地域の新たな魅力を発見・発信することを目的とします。(この場合の公共空間とは、公共施設に限らず、不特定多数の人が利用する場所を意味します)

## 募集内容

おおさかカンヴァスはこれまで6年間、河川や道路、公園等、あらゆる公共空間で作品を発表することによって、その場所や地域にしかない魅力を引きだしてきました。今年は、日本万国博覧会が開催された跡地を「緑に包まれた文化公園」として整備してから45年余りが経過した「万博記念公園」で開催します。今や緑豊かな森へと成長し、文化・スポーツ・レクリエーションなどの文化的活動が育まれ、多くの人々の憩いの場、活動の場となっている万博記念公園を舞台に、なかでも博覧会の普遍的テーマ「人類の進歩と調和」を継承している「太陽の塔」の精神を現代的に捉え、強力に発信する作品を募集します。平面、立体、パフォーマンス作品、インスタレーション、ワークショップなど、アートやデザインのあらゆる表現形態を対象とします。

## 発表場所

### 万博記念公園、特に「太陽の広場」を中心に作品を展示します。

また、下記の場所も作品展示候補地とします。

- ・「太陽の広場」と同広場前の一帯の園路(太陽の広場側から幅3m以内)
- ・万博記念公園内の日本庭園(洲浜のみ)、森の舞台、世界の森、西大路、夏の花八景、もみの池  
(お祭り広場、上の広場、下の広場、東の広場は他の事業で使用するため不可)
- ・EXPOCITYの入口から「空の広場」にかけてのエリア
- ・万博記念公園への連絡通路
- ・「万博記念公園駅」内の壁面展示エリア:高さ3mの位置にピクチャーレール有り(耐荷重30kg、横幅11.8m)  
※作品展示場所の所有者等との事前交渉や、直接のお問い合わせは行わないでください。

#### <所在地>

日本万国博覧会記念公園:大阪府吹田市千里万博公園1 / EXPOCITY:大阪府吹田市千里万博公園2-1

#### <太陽の広場を利用する場合の留意事項>

- ・太陽の塔そのものに触れる作品は不可とします。
- ・芝生の生育障害・損傷を最小限に抑える展示方法を提案してください。
- ・芝生地への車両乗り入れは禁止です。
- ・芝生地内の設営および撤去のため、公園事務所所有の芝生走行車1台を貸与します。(最大積載150kg、燃料は使用者負担)
- ・芝生地は掘削禁止です。
- ・太陽の広場内は立ち入り禁止ですが、展示期間中の土日祝日のみ、芝生保護マットを敷設した上で、来場者に作品のそばまで近づいて観覧していただくことができます。

#### <万博記念公園の利用案内>

- ・開園時間:午前9時30分から午後5時まで(なお、入園は午後4時30分まで)※作品鑑賞時間は、この時間内となります。(夜間は入園できません。)
- ・入園するには利用料金がかかります。(大人250円、小中学生70円)

## 制作予算

作品制作にあたっては、必要な制作資材および制作補助人員等に掛かる経費の全部または一部につき500万円を上限に、概ね下記の金額・点数を予定し、主催者の予算の範囲内で制作支援を行います。

### 制作支援の目安 :

<b>概ね 500万円の作品 — 1点</b>	<b>概ね 100万円の作品 — 1~2点</b>
<b>概ね 200万円の作品 — 1点</b>	<b>50万円までの作品 — 2~4点</b>

#### ※制作支援対象経費

材料費、交通費、滞在費(飲食費を除く)、機材等リース料、作品に掛かる損害保険料、制作時および発表時の補助スタッフまたは作品を完成させるために必要なパフォーマー派遣等、作品制作に係る場所使用料および光熱水費、輸送費、作品設置・撤去経費、発表場所の原状復旧に係る経費、個別作品のフライヤー等作成費 等

## 審査基準

- ・“次の太陽”(次の世代を担う新しい才能)にふさわしい魅力
- ・大阪万博のテーマ「人類の進歩と調和」を継承する万博公園の魅力発掘および発信
- ・アイデアの斬新さ
- ・実現性の高さ など

## 事業スケジュール

応募受付 **平成28年4月25日(月)～平成28年6月20日(月)必着**

結果発表 **平成28年8月上旬**

作品展示・発表 **平成28年11月中旬から12月初旬(予定)**

## 応募対象者

本事業の趣旨を理解し、選出された場合には作品の完成まで、責任を持って取り組める方(個人・グループを問いません)

※アーティスト、デザイナー、クリエイター、地域団体、NPO、プロデューサー等

## 応募条件

作品は新作、既作いずれでも結構です。既に制作済みの作品の展示のみを提案いただいても結構です。ただし、既作の場合は、制作に要した費用は支援対象となりません。また、提案者がすべての権利を有するものに限ります。なお、営利を主目的とする等、本事業の目的に沿わない提案は御遠慮ください。

応募可能提案数は1名・グループにつき合計3提案まで。

## 応募方法

下記の内容をA3サイズ以内、かつ合計10枚以内でまとめ、ホッチキ止めて提出。(※提出物は返却しません)

- (ア) 応募用紙 (イ) 作品プラン (ウ) 制作予算見積書
- (エ) 経歴書・過去作品事例等の参考資料(提出は自由です)
- (オ) 上記(ア)から(エ)のすべてを電子データで記録したCD-ROMまたはDVD-ROM

※(ア)から(ウ)の様式は公式WEBサイトからダウンロードしてください。

## 詳細

<http://osaka-canvas.jp/>

※応募される方は、募集要項・提出書類等を上記の公式WEBサイトからダウンロードしてください。※ダウンロードした公式WEBサイト掲載の募集要項の完全版を必ずお読みください。※質問は所定の質問票により、電子メールまたはFAXのいずれかの方法に限ります。電話等による個別の質問には対応しませんので、御了承ください。※作品展示場所となる施設の所有者等へ、直接のお問い合わせは御遠慮ください。

まずは  
応募要項を  
ダウンロード

## 応募先

**〒559-8555 大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 文化・スポーツ課  
おおさかカンヴァス推進事業担当 宛**

※応募受付は、郵送のみとします。

応募は  
郵便で



大阪ミュージアム構想  
'Osaka, The Museum' Concept